

あしや 市議会 だより

2024年8月 No.129

創造する楽しさがある

潮見中学校
技術部

部員総数15名で、自分たちで何をしたいか考え、企画して活動しています。校内で野菜を育て、工作室で年に2回、物づくりをしています。また、コンピューター室では、タイピング練習やプログラミングでゲームを作って、披露あっています。みんなで仲良く、いつもにぎやかに、いろいろな技術を楽しく学んでいます。

●注目の議案をPick up ●一般質問 ●議会新体制の紹介

芦屋市議会は、市民の皆さまにより分かりやすく、親しまれる議会だよりを目指しています。
ぜひ皆さまのご意見をお聞かせください。

注目の議案

令和6年
5月臨時会
5月17日
(1日間)

令和6年
6月定例会
6月5日～
6月28日
(24日間)

5月臨時会および6月定例会では全部で24件(市長提出議案:17件、議員提出議案:1件、請願:1件、陳情:5件)の議案等が審議されました。今号では、この中から3つの項目をピックアップして紹介します。

Pick up1

(第58号議案)

予防接種に要する経費の追加・命名権料の基金への積み立て等に係る補正予算

可決
(全員一致)

■ 带状疱疹ワクチン接種費補助事業

【内容】

兵庫県において、市町の带状疱疹※ワクチン接種助成事業に対する補助制度が創設されたことに伴い、带状疱疹ワクチンの接種費を助成するもの

※带状疱疹とは、子どもの頃にかかった水ぼうそう(水痘の原因となった「水痘・带状疱疹ウイルス」が引き起こす病気のこと。50歳を超えると発症率が高くなると言われている。

委員会での質疑

議員 生ワクチンと不活化ワクチンを区別せず、一律で1人1回限りの助成とした理由は?

市 一般的には、生ワクチンは約7年、不活化ワクチンは約10年の持続期間があるとされているため。

議員 ワクチン接種の見込み人数と積算根拠は?

市 助成対象者である50歳以上の人口に、県が補助事業として予算の積算の際に用いた接種率(1.1%)を乗じて563人と見込んでいる。

議員 接種可能な医療機関とその数は?

市 議案の可決後、医師会を通じて実施医療機関を募る予定であるが、インフルエンザワクチンのように誰でも接種できるものではないため、その数は限られてくる。

議員 県の助成に市の助成を上乗せするなど、接種の選択肢をさらに広げるといった考えはなかったのか。

市 国の補助がない中で、令和6年度に県が助成する方針を示したため、市もそれに基づき実施することにしたものである。

議員 今年度限りの助成であるが、今後の市の考えは?

市 国のほうでも、定期接種化を検討していると聞いている。また、県においても実施状況を踏まえ今後の対応を考えると聞いているため、今後の国と県の動向を注視していく。

■ 命名権料の基金への積み立て

【内容】

本市では、対象施設等に愛称を付与する権利(ネーミングライツ)を取得する民間事業者等を募集し、対価である命名権料を受け取ること、当該施設等の魅力向上や安定的な運営・管理のための財源確保を図っており、その財源を各基金に積み立てている。

委員会での質疑

議員 市として、命名権料の基金への積み立て方針を持っているのか。

市 全体的な方針はないが、施設にはそれぞれの特性があり、施設ごとに使い方や予算の組み方も変わるため、各担当課で基金に積み立てるのかどうかを含め、使い方を決めている。

議員 命名権料の金額設定の考え方は?

市 各施設管理者が他の事例を調査し、応募があると見込める価格を最低制限価格として募集を行っている。

議員 ネーミングライツの募集に当たり、市はどのような思いで事業を進めているのか。

市 ネーミングライツの第一の目的は歳入確保であり、施設の安全性の確保や老朽化した施設に充てる財源として確保していく方向性が最も大きいと考えている。

【市に対する意見・要望など】

● 今後の運用の中で、課題の発生や制度の整理が必要になることも考えられるため、その都度検証してほしい。

● 施設の名称が変わる理由について、スポンサー企業の提案の意図や地域貢献に対する考え方をもっと市民にPRしてほしい。

Pick up2

(第52号議案)

国民健康保険料・後期高齢者医療保険料の徴収業務を移管

可決
(賛成多数)

【内容】

令和6年7月から、さらなる市債権の適正な管理や効果的な徴収を行うため、右記の保険料の徴収業務を債権管理課へ移管するもの

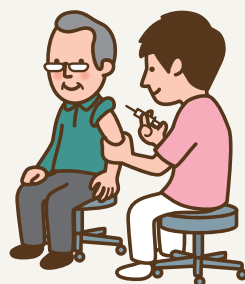
委員会での質疑

議員 今回の改正により、各所管課が持つ債権に関する業務を債権管理課に集約することになるのか。

市 徴収業務の効率化や財源の確保、公正公平な債権管理を目的としているが、賛否があることも理解しており、例えば介護保険料の移管などの場合には所管事務調査で説明し、理解を得た上で進めたい。

議員 今回の移管に伴い、これまでの生活実態を把握しながらの丁寧な対応をどう担保していくのか。

市 保険証の発行などは引き続き保険課で所掌する。納付相談の基準を変えることはなく、基本的に医療が受けにくくなることにはつながらない。



【市に対する意見・要望など】

● 2種類のワクチンの特性、接種に関する情報、副反応が生じた場合の対応などについて、丁寧に周知してほしい。

助成対象者	接種日時時点で50歳以上の芦屋市民
助成期間	令和6年8月1日から令和7年3月31日まで(※令和6年4月1日から7月31日までの接種費については償還払い)
ワクチンの種類	生ワクチンと不活化ワクチンの2種類
助成費用	1人当たり、ワクチンの種類を問わず1回限り、4千円を助成(接種費用から4千円を差し引いた額を実施医療機関に支払い)

詳細については、市ホームページ(右記QRコードを参照)をご覧ください。



一般質問

6月17日から19日までの3日間に19人の議員が、計58項目の一般質問を行いました。内容の一部を紹介します。

※各議員の所属会派名等は、6月定例会の一般質問時点のものです。
詳細は市議会ホームページ「議会中継」をご覧ください。

詳しくはこちらから↓



Pick up3

(第56号議案)

J R 芦屋駅南地区の駐輪場を
拡張・廃止

可決
(全員一致)

【内容】

J R 芦屋駅南自転車駐車場4および6の供用を廃止するほか、同自転車駐車場1を拡張するもの

委員会での質疑

議員 電動自転車は重量があり幅も取るため、自転車ラックへの収容が難しいが、市としてはどう考えているのか。

市 電動自転車はできるだけラックではなく平場に置いてもらう運用としており、今回の拡張部分についても全て平場に置く形での整備を考えている。

議員 自転車駐車場4は第一跨線橋の撤去工事後に再開の見通しはあるのか。

市 供用廃止後の整備は今後検討することになるが、原付用の駐車場としての活用を考えていきたい。

議員 原付については8月1日以降、収容台数が減ることとなるが、収容台数をどのように見通しているのか。

市 現状では市営の自転車駐車場にも余裕があり、民間の駐輪場にも空きがあるため、収容台数は満たしているものと考えている。



川上 あさえ

あしや政風会

障がい児のサポートについて

議員 こども医療費の所得制限は撤廃されたが、障がい児が受ける手当には所得制限がある。撤廃すべきではないか。

市 障がい児の補装具や身体障害者手帳の交付対象とならない軽・中度難聴児の補聴器の購入の一部助成については所得制限を廃止している。

障がいに関するサービスは多岐にわたり、市としては安定的な制度運営のため、所得に応じた一定の負担を頂きながら、障がいのある方を支えていく方針である。

オーバードーズ※対策について

議員 教育現場で薬物乱用の防止に関する指導は行っているのか。

教委 市立中学校における薬物乱用防止教室は学校保健計画に位置付け、特別活動の時間等を活用し、年に1回実施している。
※オーバードーズとは、医薬品を、決められた量を超えてたくさん飲んでしまうこと。

有事の避難計画について

議員 Jアラートが発出された際の避難場所の周知啓発は？

市 避難場所は県により市内23施設が指定され、国の国民保護ポータルサイトで確認でき、市ホームページにおいても容易に確認できるようにしている。今後も引き続き市民への周知に努めていく。

議員 地下シエルターを指定する予定は？
市 避難施設の指定は県が行うため、県と協議し、調整していきたい。

◆その他の質問

「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」の施行について

寺前 尊文

至誠会

「終活」支援体制の構築を

議員 単身高齢者の増加により身寄り無き故人が急増している。市が相談窓口を設け、葬儀や遺言等の意向に沿って生前契約すること、故人の遺志の尊重と死後事務の課題解消が可能となる。終活支援の検討を求める。



市 国が公募している持続可能な権利擁護支援モデル事業への参加は現時点では考えていないが、権利擁護支援センター等で権利擁護の取り組みを進めている。引き続き、先進市の事例等を研究していく。

教員不足の現状と課題は

議員 学級担任の欠員補充の対応と現状はどうか。本市でも教員不足が顕在化してきたが、原因をどう考察しているのか。

教委 今年度当初に小学校の1学級で担任を配置できなかったが、4月中旬に任用し、現在は全て定員内の配置ができています。

教員不足は全国的な課題でもあるが、労働環境が原因にあると考えている。教員不足解消のため、臨時講師登録説明会で学校業務サポーターなどの人材を市独自で配置していることや、時間外電話応答メッセージの設置など、働き方改革の取り組みを紹介し、本市の学校で働きたいと思ってもらえるよう、魅力発信に努めている。

議会BCPの検証・検討に引き続き取り組んでいます

令和5年度に引き続き、今年度も6月から議会BCP検証検討会議(座長:副議長、委員:6名(各会派からの推選))を設置し、「令和6年度の議会機能継続訓練について検討すること」等を目的に協議を行っています。さらに今年度はBCPマニュアルの見直しにも着手し、災害時も議会運営を中断することなく遂行できる体制づくりを強化していきます。

※BCPとは、災害などの緊急事態における企業や団体の事業継続計画(Business Continuity Planning)のこと。



議会BCP検証検討会議のメンバー (令和6年6月28日時点)

(左から浅海議員、西崎議員、たかおか議員、岩岡副議長、福井利道議員、ひろせ議員、田原議員)

議会報告会準備会を設置しました

本年6月に議会報告会準備会(座長:副議長、委員:6名(各会派からの推選))を設置し、今年度の議会報告会の開催に向けて協議をスタートしました。より開かれた議会を市民の皆さまに知っていただけるよう議会報告会をどのような形で実施するか議論を重ねてまいります。

日程や開催方法等についての詳細が決まりましたら、市議会ホームページでお知らせいたします。

※議会報告会とは、市民に開かれた議会を目指し、議会活動の報告や、市政の課題について議員と市民で意見の交換を行う場として開催するものです。



議会報告会準備会のメンバー (令和6年6月27日時点)

(左から中村議員、川島議員、西村議員、岩岡副議長、浅海議員、原議員、寺前議員)

災害への備えについて

議員 トイレレカー等の配置を求める。

市 トイレレカーについては、レンタルおよび派遣を含めた災害時応援協定を民間企業と結んでおり、今後も協定数を増やすよう進めていく。

市での独自所持については、維持費・災害派遣時の職員同行の課題があるため個人所有者の登録と併せて、先進事例を研究していく。

議員 防災用品等、また火災への備えは十分なのか。

市 防災用品等の備えは、個人の非常持ち出し品として備蓄してもらうことを基本的な考え方としており、今後も周知を行う。火災への備えは、大阪ガスや警察等の災害対応機関との連携も継続し、強化していく。また、災害による被害が最小限度となるよう、日頃からできる火災予防の啓発を随時行っていく。

中島 健一

至誠会

押印等の施策について

議員 押印廃止等は、順調に進行中なのか。

市 4月時点で約85%の手続が廃止済みである。

議員 公印の管理取り扱いは、適切にできているのか。

市 公印の管理や使用については規則に沿った運用に努めている。

教委 改めて運用の確認を行ったところ、規定の整備がされていない部分があったため、速やかに改正した。今後も市長部局と調整し、適正な運用を図っていく。

議員 マイナンバーカードによる本人確認は適切にできているのか。

市 偽造による被害が相次いでいることを受け、なりすまし対策として、全職場にカードの券面に施されている偽造防止措置を示し、注意喚起を行った。各手続での適正な本人確認を改めて徹底していく。



令和6年5月臨時会・6月定例会の審議結果



◆全議員が賛成した議案

条例	〔一部改正〕市税条例／職員の特殊勤務手当に関する条例 など6件
予算	〔令和6年度補正予算〕一般会計（第1号）／打出芦屋財産区共有財産会計（第1号）
一般案件	財産の取得 など2件
人事案件	監査委員の選任／人権擁護委員の候補者の推薦 など5件
議員提出議案	イスラエル・パレスチナの武力紛争の速やかな平和的解決を求める決議
請願	ガザでの武力紛争の平和的解決を求める請願

◆賛否の分かれた議案

会派名		あしや政風会			日本共産党 芦屋市議会議員団			公明党		日本維新の会			至誠会		芦屋 しみんの 未来		会派に 属さない 議員		議決結果					
議員名		岩岡 りょうすけ	福井 利道	川上 あさえ	原 なつ子	福井 美奈子	川島 あゆみ	ひろ せ久美子	平野 貞雄	西村 まさ と	田原 俊彦	帰山 和也	浅海 洋一 郎	橋本 隆貴	大原 裕薫	西崎 健一	寺前 尊文	中村 亮介	たか おか 知子	山口 みさ え	長谷 基弘	賛成	反対	棄権
件名																								
条例	事務分掌条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	15	4	0
一般案件	兵庫県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	—	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	13	6	0
																						可決		可決

※「○」…賛成、「×」…反対、「欠」…欠席、「―」…議長（議長は表決に参加しません。）
※会派名は令和6年6月28日時点

可決した決議

令和6年6月定例会で可決した決議を紹介します。

イスラエル・パレスチナの武力紛争の速やかな平和的解決を求める決議
(議員提出議案第5号)

全員一致

【提出先】

内閣総理大臣、外務大臣、内閣官房長官

【内容】

芦屋市議会は国際平和を願う立場から、イスラエル・パレスチナでの事態を見過ごすことはできず、その速やかな平和的解決を強く望むとともに、日本政府において関係各国による緊密な連携の下、停戦に向けた適切な外交努力を積極的に講じるよう強く求めるもの

決議の詳しい内容については、市議会ホームページ「議員提出議案の審議結果(令和5～8年度)」(右記QRコード参照)をご覧ください。



議員研修会を行いました

去る5月13日に、神戸大学名誉教授の室崎益輝氏から、「能登半島地震と自治体防災について」というテーマでお話を伺いました。

研修では、地震の概況や当該地域の特性(半島部の中山間地域で地理的にも社会的にも孤立性の高い地域であったこと)、今回の災害対応の概況などの説明がありました。被災地では、被災者のニーズに応じた態勢の構築や環境の整備が遅れていたとのことでしたが、その中でも地域に密着したコミュニティーが被害の軽減と復旧・再建にとっても大きな役割を果たしていたとのことが印象的でした。

また、自治体防災を考える上で、「少子高齢化・過疎過密化・他者依存化などの社会の脆弱性にも目を向けなければならないこと」、「想定外を起こさないよう最悪の場合を想定すること」、「行政の危機管理担当だけでなく全職員が危機管理能力を高めなければならない」といったお話もあり、平時から備えることの重要性を改めて実感しました。



議会新体制紹介

副議長などを選出

5月臨時会(5月17日)で副議長をはじめ、議会役員を選出しました。なお、副議長・阪神水道企業団議会議員は議員21名による投票により選出しています。
また、各常任委員会や議会運営委員会の委員なども選任し、議会の新体制が整いましたので紹介します。



【議長】帰山 和也 【副議長】岩岡 りょうすけ

【阪神水道企業団議会議員】 中村 亮介

【監査委員(議会選出)】 中島 健一

【議会運営委員会】

委員長：田原 俊彦

副委員長：川島 あゆみ

委員：福井 美奈子、中島 健一、橋本 隆

【議会報編集委員会】(令和6年5月17日時点)

委員長：帰山 和也

副委員長：岩岡 りょうすけ

委員：原 なつ子、西崎 薫、浅海 洋一郎、たかおか 知子、川島 あゆみ、西村 まさと

常任委員会委員紹介

総務常任委員会



ひろせ 久美子 委員長



福井 美奈子 副委員長



岩岡 りょうすけ 委員



中村 亮介 委員



寺前 尊文 委員



橋本 隆 委員



田原 俊彦 委員

民生文教常任委員会



大原 裕貴 委員長



福井 利道 副委員長



山口 みさえ 委員



西崎 薫 委員



たかおか 知子 委員



川島 あゆみ 委員



西村 まさと 委員

建設公営企業常任委員会



川上 あさえ 委員長



浅海 洋一郎 副委員長



長谷 基弘 委員



原 なつ子 委員



中島 健一 委員



帰山 和也 委員



平野 貞雄 委員

会派の解散

令和6年7月12日付けで、会派「芦屋しみんの未来」が解散し、中村亮介議員、たかおか知子議員が会派に属さない議員(無所属)となりました。

最新の状況は市議会ホームページ「会派別議員名簿」(右記QRコードを参照)をご覧ください。



議会のナゼ? なに? 再発見!

議会クイズ 第47回

◆問題 【出題者】川島あゆみ委員
令和6年8月から带状疱疹ワクチンの接種費助成が始まります。助成対象者は、次のうちどれでしょうか。

- ①18歳以上の芦屋市民
- ②40歳以上の芦屋市民
- ③50歳以上の芦屋市民

◆前回のクイズの答え ※前回の応募件数は88件
「令和6年4月1日から産後ケア事業が拡充されましたが、既存の宿泊型、通所型に加えて新設されたのは何でしょうか。」の正解は「③訪問型」でした。

正解者の中から抽選で3名の方に図書カード(1,000円分)を差し上げます。
正解は11月発行予定のあしや市議会だより130号で発表します。たくさんのご応募をお待ちしています。



◆応募方法
「専用フォーム」、「電子メール」、「はがき」にて、住所・氏名・年齢・電話番号・クイズの答え・議会や本誌に対するご意見やご感想を明記してご応募ください。

※メールで応募する場合、件名は「第47回議会クイズ応募」としてください。
※頂いたご意見は全て、本誌編集委員が目を通し、今後の誌面改善のための参考にさせていただきます。

◆応募締め切り
令和6年(2024年) 8月28日(水)まで
※当日消印有効

◆応募先
〒659-8501 芦屋市精道町7番6号
芦屋市役所 市議会事務局
メールアドレス: gijityousa@city.ashiya.lg.jp

※個人情報は賞品の発送以外には使用しません。
※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。



QRコード
(専用フォーム)

市議会ホームページで なにができる?

芦屋市議会

市議会だよりの电子版を読む

市議会だよりのPDF版を掲載しています。また、スマートフォンアプリ「マチイロ」も利用可能です。(アプリの利用方法も併せて市議会ホームページに掲載しています。)

会議の予定を調べる

本会議や委員会の開催予定、本会議での一般質問・総括質問の質問順や質問内容を掲載しています。

本会議・委員会の中継映像を見る

本会議・委員会の中継映像を配信しています。また、会議終了後、おおむね3日後から1年間は録画配信もしています。スマートフォンやタブレット端末でも閲覧が可能です。

過去の会議録を調べる

本会議や常任委員会・特別委員会等の会議録を調べたり、見たりできます。

政務活動費や議会交際費をチェックする

政務活動費の報告書や領収書、議会交際費の用途と金額を掲載しています。

議員の連絡先を調べる

議員の連絡先を掲載していますので、直接話がしたい場合などにご活用ください。また、所属委員会・会派・政党なども掲載しています。

議案書・委員会資料などを見る

審議に使用する議案書、請願書、審議結果、議員一人一人の賛否などを公開しています。また、委員会で使用する資料や、委員会に送付した陳情書も公開しています。

請願や陳情の提出方法を調べる

議会に対して請願や陳情を提出するための方法などを掲載しています。

9月定例会 日程(予定)

芦屋市議会では、本会議・委員会(議会運営委員会を除く)のインターネット映像配信を行っています。パソコン・スマートフォンなどでご覧ください。また、日程が変更になることがありますので、ホームページなどでお確かめください。

月	火	水	木	金	土	日
8/26	27	28	29	30	31	9/1
				議会運営委員会		
2	3	4	5	6	7	8
本会議(提案説明)	建設公営企業常任委員会	民生文教常任委員会	総務常任委員会	委員会(予備日)		
9	10	11	12	13	14	15
議会運営委員会	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(一般質問等) 決算特別委員会	委員会(予備日)		
16	17	18	19	20	21	22
				議会運営委員会		
23	24	25	26	27	28	29
	本会議(決算以外採決)	決算特別委員会(建設公営企業分科会)	決算特別委員会(民生文教分科会)	決算特別委員会(総務分科会)		
30	10/1	2	3	4	5	6
決算特別委員会(分科会予備日)	決算特別委員会(分科会予備日)					
7	8	9	10	11	12	13
決算特別委員会		議会運営委員会	本会議(決算採決)			

●本会議委員会の開始は、原則午前10時からです。

編集後記

芦屋市を良くしたいという
思いが同じ議員と市職員双方に、誠実さがあってこそ議論も深まり、その過程を経て生まれた取り組みだけが、市民の皆様喜んでいただけるものになると思います。今後とも、分かりやすいことを第一として、市議会の臨場感が感じられるような誌面づくりに努めてまいります。

【編集委員】 西崎 薫